

さんぽみち



発行 わがまち大田鶴の木地区推進委員会

連絡先
鶴の木特別出張所
3750-4241

り楽しく過ごしたいです。私は、ミニバスケットのチームに入っています。練習や試合が多く、休みの半分以上がバスケにとられてしまいます。いやになつて行きたくないなることもあります。でも、がんばつて行こうと、思つています。七月十九日の大会は、ぜひとも優勝したいです。他の日も無駄にしないようにしたいです。中学生が別になる子もいるので、楽しく遊びたうに、友達を大切にして、楽しく過ごします。

生だ。ぼくは千鳥小にかよつている。小学四年のれんしゅうをする。ぼくは、千鳥ライオインズという野球チームに入っている。「ライオンズ」はAチームとBチームにわかれていて、この前の日曜日、七中で、「第二回千鳥がんば少年野球大会」があり、Aチームはみごとゆうしようした。しかし、Bチームはでられなかつた。しあいに出られるためには、もつとれんしゅうしようと思つてゐる。どうぜんぼくはピッチャーダ。ピッチャーナになれるようにもつとれんしゅうにしゅうちゅうしようと思つてゐる。

思いつきり夏休み

東二小天明慶子

卷之三

千鳥小
黒與
綾介

An illustration of two children, a boy and a girl, sitting at a table. The boy is on the right, wearing a dark shirt, and the girl is on the left, wearing a light-colored dress. They are both looking towards the camera. On the table in front of them is a bowl of rice and some vegetables. The background is plain.

A cartoon illustration of a shark character. The shark is wearing large, round sunglasses and a snorkel. It has a wide, toothy grin. It is holding a long, thin trident vertically with both hands. The shark is standing on a small, dark base.

元氣いつぽい夏休み

卷之二 小明

夏休み＝春休みや冬休みとはちがい、ひと月以上のホリデー期間。せっかくの長い夏休み、宿題なんかあとにして、たっくさん遊ぶべきです。

夏といえば海！眞っ青で、キラキラと光る海です。私は奄美大島に行つたことがあるのですが、飛行機の窓から見える水色の海に、私はただただ感動してしまいました。

私は、その海であきるほど遊び、それがとても楽しかったのを覚えていきます。みなさんにも山や海などの自然にふれ

わたしは、まだ少ししかあげないで、夏休みのプールで25mをあげようになりたいので、がんばつて毎日プールにいきたいです。それと、去年、高校生のお姉ちゃんと中学生のお兄ちゃんのせい(受験)で、キヤンプにいけなかつたので、今年こそはぜつたいに、家族みんなでキヤンプにいくつもりです。いいみたい。ら、ハンモックにのつてひるねをしあとに。あとは、いなかのおばあちゃんのいいところへいって、川あそびをしていっぱいあそんできます。

今年は、私の小学校生活最後の夏休みだ。だから私は、たくさん計画をたてた。
まずは、旅行だ。こうれいになつていてるたて
しな、千葉のハーブアイランドやザウススキーリ
場。中でも私が一番楽しみなのは、千葉のハーブ
アイランドだ。そこは自然が豊かで、空気が
きれいで、とてもおちつくところだ。私は小さ
いころから、そこによく行つていた。
夏休みは長いのでやりたいことがたくさんで
きる。私は夏休みが大好きだ。

卷之三

大森七中 數雄大

わがまち あの人 この人

體育指導委員二十七年

鶴の木二丁目

海沼耕作

千鳥いこい公園

千鳥一丁目 水野敬司

川柳



千鳥二丁目 倉方勝雄

夜も更けて携帯こわい高笑い

ゴミ置き場猫と鴉のレストラン

夜因遠因美从三从父從正以十

宇宙旅行にご招待します

編集後記

真夏の元気な子どもたちに接するとき
思い出に残るような夏休みであつてほし
いと願つております。鵜の木特別出張所
管内四校のこどもさんに夏休みについて
語ってもらいました。地域住民として楽
しい夏休みが過ごせるよう環境づくりに
つとめて行きたいと考えております。み
んなの「さんぽみち」です。ご意見をお
待ちしております。

委員（略称・体指）に五十五歳定年制が敷かれました。当時は大田区全体で四十八名（体育協会から二十五名、地域推薦が二十三名）の体指の皆様が活躍されていましたが、おりしも、鶴の木出張所管内七名のなかで、定年になられた小田七蔵（嶺町二丁目東町会長の後任として、地域推薦をうけた私が体指に任命されました）。當時、二十五歳だった私は先輩についていくのに精一杯で、体指の主旨が判るようになるまでには五年程かかりました。

体指は、大田区教育委員会やスポーツ振興課の主催する行事に数多く参加しています。一月の成人マラソン。五月と十一月の歩こう大会。春秋の寿ハイキングなど。私が体指になつた頃から多摩川敷で毎朝行われていた親子体

操は、いつしか「鵜の木早朝運動クラブ」と呼ばれるようになり、現在は「夏休みラジオ体操」として引き継がれています。親子揃つて準備体操、ランニング、なわとびなどで汗を流している姿はまさにほほえましい限りです。

あれから二十七年。振り返って考えてみると、先輩や青少年と一緒に、いろいろな行事に参加したり、ボランティア活動に協力したりして、つらかつたことや楽しかったことなど、思い出深いものばかりです。

現在、体操は全員が地域推薦によつて任命されています。いつもしか、「私が一番古くなつてしましました。

トタフでなければ生きていけない。生きている資格がない！人間も自然の一員である。なのに、何もかも人間は必ず工的なものに支配されすぎではないのか。もつと自然に、太陽に空に風に光に、花に草に木に、海に山に、目に向ける心を寄せることが大切なのはないのか。少し少しだけ早起きして近所を歩く。少し立ち止まつてあたりを見渡す。すると、意外な光景に新たな発見をすることがある。新たな感動がある。

梅雨空がつづきアジサイの季節です。地球規模で異常気象が伝えられ、今年の夏は、冷夏か酷暑か、心配になります。

田植え後の水田風景が美しいのも今頃の季節。多摩川台公園ではアジサイの花を見受けますが、鶴の木駅にはツバメの巣の姿は見られません。

アジサイは、万葉の時代から古歌にも詠まれ、江戸時代には茶花にも使われていました。最近では日本産の在来種、ヨーロッパ種との交配による美しい花も見えられます。

た場所によつて、それが赤くなつたりします。そこで、歐米文化を吸收して、急速に発展しつづける日本人にも、今発想の転換が求められています。大きな時代の流れの中で、来世紀にどんな花を咲かせるのか、各人が、人生の時を有意義に生きるために、「変化」が求められています。

リレー工ツセイ

一一丁目 古谷 資友

鶴の木特別出張所管内	
人	男 10, 670 名
	女 10, 905 名
口	計 21, 575 名
世帯数	10, 321 世帯